

# 「障害福祉施策のゆくえ」

## ～新たな障害福祉制度の構築にむけて～

### 目的

現在、障害当事者を主体に構成された「障がい者制度改革推進会議」において、今後の障害者施策の方向性が検討されている。

障害者自立支援法にかわる障がい者総合福祉法(仮称)の検討が進む中、本協会は、知的障害者の福祉の増進を図ることを目的に設立された団体として、何ができるのか？ また、何をすべきなのか？ あらためて知的障害福祉の理念を問い直し、過去の施策制度を再度検証し、本会議を利用者(当事者)の最善の利益の確保と質の高い支援を提供するための新たな障害福祉制度の構築に向けた情報発信(検討)の場としたい。

### 主催

財団法人日本知的障害者福祉協会

### 後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、

社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会、

社団法人日本発達障害福祉連盟、社団法人全国脊髄損傷者連合会、社団法人日本精神科病院協会

全国社会就労センター協議会、全国知的障害者施設家族会連合会、日本障害者協議会

### 開催日

平成 22 年 7 月 5 日 (月)・6 日 (火)

### 会場

東京国際フォーラム (別紙参照)

●全体会 (7月5日) 東京国際フォーラム (ホール A)

●分科会 (7月6日) 東京国際フォーラム (ホール A・B5・B7・C)

### 日程

#### 第1日目(7月5日) 全体会

11:00	12:00	12:45	13:30	14:30	14:45	16:45
受付	開会 主催者挨拶 来賓挨拶 愛護福祉賞	行政説明	基調講演	休憩	公開討論会	

#### 第2日目(7月6日) 分科会

9:00	9:30	11:30	12:30	15:00
受付	午前の部	休憩	午後の部	

## プログラム

### 第1日目 7月5日

- 11:00～ 受付
- 12:00～ 開会・主催者挨拶・来賓挨拶・愛護福祉賞授賞式
- 12:45～ 行政説明
- 13:30～ 基調講演
- 14:45～ 公開討論会

### 第2日目 7月6日

9:00 開場（9:30 開演）～ 15:00

- 第1分科会 「障害福祉施策のゆくえ」  
～一人ひとりが安心できる生活を求めて～
- 第2分科会 「これからの障害児支援体制のあるべき方向への具体的提言」
- 第3分科会 「障害者自立支援法と障がい者総合福祉法（仮称）の狭間で」  
～これからの日中活動支援を考える～
- 第4分科会 「障がい福祉のゆくえ」 ～新たな地域生活支援の構築に向けて～

#### 第1日目

##### ■開会・主催者挨拶・来賓挨拶・愛護福祉賞授賞式■

12:00～ 12:45

##### ■行政説明■

12:45～ 13:30

中島 誠（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長）

##### ■基調講演■

13:30～ 14:30 「障害福祉施策のゆくえ」

堀田 力（さわやか福祉財団理事長）

##### ■公開討論会（パネルディスカッション）■

14:45～ 16:45

「新たな障害福祉制度の構築にむけて」

論者

岩崎 俊雄（全国社会福祉施設経営者協議会障害者施設経営委員会委員長）

平野 方紹（日本社会事業大学社会福祉学部准教授 /

障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員）

道躰 正成（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐）

最上太一郎（わらび学園施設長 / 日本知的障害者福祉協会政策委員会 委員長）

司会

光増 昌久（松泉学院施設長 / 障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員  
日本知的障害者福祉協会政策委員会委員）

■第1分科会 ■ 「障害福祉施策のゆくえ」 ～一人ひとりが安心できる生活を求めて～

社会福祉基礎構造改革以降、福祉施策の中核は「サービス」に対する利用負担と給付の制限を顕にしてきた。戦後福祉の大転換の中で、高齢者も障害者も児童も制度に翻弄されている。確たる将来が見えない。本当に必要とされる施策は何なのか。本分科会は、基礎構造改革以降の障害者施策の動向と課題を改めて検証するとともに、第一線の「障害福祉」・「地域福祉」の研究者と実践者を迎え、普遍的な障害者支援と施策のあり方について共に考える場としたい。

9:30～11:30	講演	「改革推進会議をふまえた障害福祉施策のゆくえ」 佐藤 久夫 (日本社会事業大学社会福祉学部教授 / 障がい者制度改革推進会議委員)
12:30～15:00	鼎談	「一人ひとりが安心できる生活を求めて」 ～施設と地域の垣根を越えて～
鼎談者		岸川 洋治 (横須賀基督教社会館館長) 井出 意作 (小諸学舎理事長) 阪口 光男 (後志報恩会総合施設長)

■第2分科会 ■ 「これからの障害児支援体制のあるべき方向への具体的提言」

これからの障害児支援について、平成20年「障害児支援の見直しに関する検討会」報告書を基礎に社会保障審議会の検討を踏まえて、障害者自立支援法の一部改正案とともに児童福祉法改正案が示された。この改正案は、これからの障害児支援体制の方向を示していると捉え、これらを検証しつつ通園系施設・事業及び入所施設の今後のあり方について提言を試みる。

9:30～10:15	行政説明	「障害児支援の検討に向けた国の動向について(仮)」 光真坊浩史 (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 地域移行支援・障害児支援室専門官)
10:15～11:00	講演①	「障害児支援の具体化に向けた提言」 加藤 正仁 (うめだ・あけぼの学園施設長 / 全国児童発達支援協議会会長)
11:15～12:30	講演②	「これからの障害児支援と子ども家庭福祉」 柏女 霊峰 (淑徳大学総合福祉学部教授 / 障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員)
13:30～15:00	シンポジウム	「これからの障害児支援体制に向けた施設・事業への提言」
シンポジスト		米川 晃 (柏学園理事長 / 児童通園施設・児童デイサービス事業分科会座長) 水流 純大 (あさひが丘学園施設長 / 児童施設分科会副座長) 遠藤 光博 (ノビロ学園施設長)
助言者		柏女 霊峰 (淑徳大学総合福祉学部教授 / 障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員)
司会		田中 齋 (桐友学園施設長 / 日本知的障害者福祉協会副会長)

### ■第3分科会 ■ 「障害者自立支援法と障がい者総合福祉法（仮称）の狭間で」 ～これからの日中活動支援を考える～

働くことやさまざまな日中の活動を通して、知的障がいのある一人ひとりが安心して、生きがいのある生活や人生を送ることができるようになるためには、どのような日中活動支援が求められるのか。現在進められている障がい者制度改革推進会議の動向を踏まえ、障害者自立支援法における日中活動支援事業等の問題点を検証し、これから新たに整備される障がい者総合福祉法への提言等、その対策を協議する。

9:30～11:30	講演	「知的障害者の福祉支援の方向性について（仮）」 北野 誠一（おおさか地域生活支援ネットワーク理事長 / 障がい者制度改革推進会議委員）
12:30～15:00	シンポジウム	「これからの日中活動支援のあり方について」
	シンポジスト	田口 道治（デイセンターあゆみの家施設長 / 通所更生施設分科会副座長） 榊原 典俊（水間ワークス施設長 / 通所授産施設分科会座長） 高橋 一裕（南美唄福祉工場施設長 / 福祉工場分科会座長）
	助言者	北野 誠一（おおさか地域生活支援ネットワーク理事長 / 障がい者制度改革推進会議委員）
	司会	長谷川浅美（しろがね苑施設長 / 授産施設分科会副座長）

### ■第4分科会 ■ 「障がい福祉のゆくえ」～新たな地域生活支援の構築に向けて～

新たな政権は「障害者自立支援法」を廃止して、平成25年8月までに「障がい者総合福祉法（仮称）」を制定することとしている。午前中のプログラムは、2つの講演を通して、この法律の真のねらいはどこにあり、そして今後の具体的施策はどうなっていくのか、また国際比較からみて日本の障がい者施策の水準はどのレベルにあるのか等について検証する。また午後のシンポジウムは、当事者、家族、事業者、行政等においてリーダー的存在として活躍している方々に、それぞれの立場から障害者自立支援法の総括と新たな地域生活支援の仕組み作りについて提言をいただき、「ともに生きる地域社会づくり」について徹底討論を行う。

9:30～10:30	講演①	「どう変わる、障がい福祉のゆくえ」 東 俊裕（障がい者制度改革推進会議担当室長）
10:30～11:30	講演②	「国際比較からみた日本の障害者政策の位置づけ」 勝又 幸子（国立社会保障・人口問題研究所情報調査分析部長 / 障がい者制度改革推進会議委員）
12:30～15:00	シンポジウム	「障がい福祉のゆくえ ～安心できる地域生活支援の構築を目指して～」
	シンポジスト	尾上 浩二（障害者インターナショナル日本会議事務局長 / 障がい者制度改革推進会議委員） 副島 宏克（因島であいの家施設長 / 全日本手をつなぐ育成会理事長） 曾根 直樹（東松山市社会福祉協議会地域福祉課長） 橘 文也（ハロー ENJOY 札幌施設長 / 日本知的障害者福祉協会副会長）
	コーディネーター	小林 繁市（北海道社会福祉事業団参与 / 地域支援部会会長）

## 参加対象

- ①知的障害福祉施設・事業の長（施設長及び管理者）
- ②知的障害福祉施設・事業の中堅幹部職員
- ③社会福祉法人役員
- ④地方自治体の担当者及び関係者
- ⑤その他

## 参加費

15,000 円（会員・準会員の施設・事業所の方）

20,000 円（非会員の施設・事業所の方、地方自治体の担当者及び関係者、その他）

## 参加申込等

① 8 頁「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、「参加・宿泊申込み案内」記載の申込先

**日本旅行に郵送または FAX(03-3225-1009) にてお申込みください。**

② 申込み受付のお知らせとして「参加申込み・宿泊のご回答」を FAX にて(株)日本旅行よりご連絡申し上げますので、ご確認のうえ記載の振込先に参加費をお振込みください。

③ 上記①、②をもって参加申込みとし、参加申込者へは参加証を郵送いたします。当日はこの参加証にて受付・資料の引換えをいたしますので、必ずご持参ください。

④ 参加費の返金はありません。ただし、参加申込者が欠席した場合は、後日会議資料を郵送いたします。

※インターネットでの申込みも可能となっておりますので、日本知的障害者福祉協会のホームページをご覧ください。

## お問い合わせ先

### 開催事務局（会議の内容に関するお問い合わせ）

財団法人 日本知的障害者福祉協会 全国知的障害関係施設長等会議係

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6 階

TEL：03-3438-0984

### 申込み（参加申込・宿泊に関するお問合せ先）

(株)日本旅行 東京法人・コンベンション営業部 担当：田口真佐子・舟木健一郎

〒160-0017 東京都新宿区左門町 16-1 四谷 T Nビル 4 階

TEL：03-5369-4511

FAX：03-3225-1009